

セゾン資産形成の 達人ファンド

追加型投信/内外/資産複合



交付運用報告書

第10期 (決算日 2016年12月12日)

(作成対象期間 2015年12月11日～2016年12月12日)

第10期末(2016年12月12日)

基準価額	16,637円
純資産総額	37,496百万円
第10期	
騰落率	△2.1%
分配金(税込)合計	-円

- ・騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧・ダウンロードいただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンドの紹介」⇒「セゾン資産形成の達人ファンド」⇒「運用状況・レポート」⇒「運用報告書」

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、右記お問い合わせ先までお問い合わせください。

受益者の皆さまへ

平素は「セゾン資産形成の達人ファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当ファンドは2016年12月12日に第10期決算を行いましたので、当期の運用状況をまとめております。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を、変わらずに行って参りましたこと合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期投資の充実のため、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

SAISON
ASSET
MANAGEMENT

セゾン投信

■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口
〒170-6037 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 37F
[ホームページ] <http://www.saison-am.co.jp>
[電話番号] 03-3988-8668
[営業時間] 9:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

ごあいさつ

セゾン投信流のアクティブ長期投資を実践する「セゾン資産形成の達人ファンド」の第10期は、通期では残念ながら若干のマイナスリターンとなり、当該期間は高水準の事業価値を厳選して志向する当ファンドにとっては、総じて苦戦を強いられる市場環境でありました。

世界の金融市場は、2016年前半においてはリスクオフ傾向が続き、英EU離脱という想定外のイベントがグローバルにマーケットの価格を揺さぶると共に、大幅な円高方向への為替水準訂正が重なって、当ファンドの基準価額下落に直結する逆風下での運用となりましたが、11月の米大統領選以降は一転、トランプラリーと言われる反騰相場となり、先進国株式市場の価格水準修正が、急激な円安ドル高への回帰を伴って進行する途上で期末を迎えたことから、ほぼ期初水準の基準価額レベルを回復したものの、この急騰相場は「落ち葉が沈んで石が浮く」が如き、専ら大型割安株偏重のトレンドとなり、やはりクオリティコンシャスな当社の運用スタイルは残念ながら報われにくい環境が続きました。

多くのアクティブ運用が同様の厳しい市場環境を強いられる中で、相場追従への誘惑が沸くわけですが、当ファンドは独自の運用コンセプトを堅持して、やがて再び訪れる価値への回帰をじっくり待っています。即ち長期的見地で果実を育む本格的長期投資ファンドの真価が問われる局面だと言えましょう。

決して相場を追うことなく、事業の本源的価値に立脚して、グローバルな実体経済の長期安定成長軌道に乗り続ける当ファンドの運用成果は、お蔭様でR&Iファンド大賞3年連続受賞を、そして「リップパーファンドアワード」では2年連続最優秀ファンド賞受賞を得て、ますます日本における稀有な国際分散型長期アクティブファンドとしての評価の高まりを感じております。

米国経済の回復がより堅調さを増し、日欧経済が追従する先進国主導型世界経済となるであろう2017年は、当社のアクティブ運用が再び報われる環境回帰への期待を持って、堅固な長期投資を貫いて参ります。

「セゾン号」乗客の皆さまには、長期投資の継続に乗務員一同感謝申し上げますと共に、第10期の運用状況を報告させていただきます。

代表取締役社長 中野 晴啓

◎受賞実績



セゾン資産形成の達人ファンド
**「R&Iファンド大賞2016」
 最優秀ファンド賞を受賞しました。**

格付投資情報センター (R&I) の選定する「R&I ファンド大賞 2016」において、「NISA (少額投資非課税制度) / 外国株式部門」で「最優秀ファンド賞」、「投資信託/外国株式部門」で「優秀ファンド賞」を受賞しました。

NISA部門の最優秀ファンド賞は、3年連続の受賞となります。



セゾン資産形成の達人ファンド
**「リップパー・ファンド・アワードジャパン2016」
 最優秀ファンド賞を受賞しました。**

トムソン・ロイターの投資信託情報サービスを提供しているリップパーの選定する「リップパー・ファンド・アワードジャパン2016」において、最優秀ファンド賞を2年連続受賞しました。

評価期間「3年および5年」

分類「ミックスアセット 日本円フレキシブル」

運用担当者の紹介

セゾン資産形成の達人ファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、世界の優れたリソースを活用しながら、日本の生活者の方の長期的資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、4人のチームで運用を行っています。

代表取締役社長、CIO(チーフインベストメントオフィサー)

中野 晴啓



主な役割

運用の基本的な方向性の指示

運用経験年数 26年

経歴

1987年	明治大学商学部卒業
1987年	株式会社クレディセゾン入社。セゾングループの金融子会社にて債券ポートフォリオを中心に資金運用業務に従事した後、投資顧問事業を立ち上げ運用責任者としてグループ資金の運用のほか外国籍投資信託をはじめとした海外契約資産等の運用アドバイスを手がける。その後、2006年セゾン投信を設立。2007年4月から現職。

運用部アナリスト

奥山 勉



主な役割

マクロ経済環境の調査、ファンドのリスク分析

運用経験年数 11年

経歴

1987年	早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
1987年	株式会社クレディセゾン入社。クレディセゾン及びセゾングループでの投資業務等に従事した後、2011年からセゾン投信にて現職。
	公益社団法人日本証券アナリスト協会検定会員 中央大学大学院国際会計研究科修了(ファイナンス)

運用部長、ポートフォリオマネジャー

瀬下 哲雄



主な役割

運用方針の決定、資産配分比率の決定、キャッシュフローの管理

運用経験年数 10年

経歴

1996年	上智大学経済学部経営学科卒業
2006年	セゾン投信入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネジャー、2014年から現職。

運用部アナリスト

伝能 浩



主な役割

新規組入れファンドの調査、国際政治情勢分析

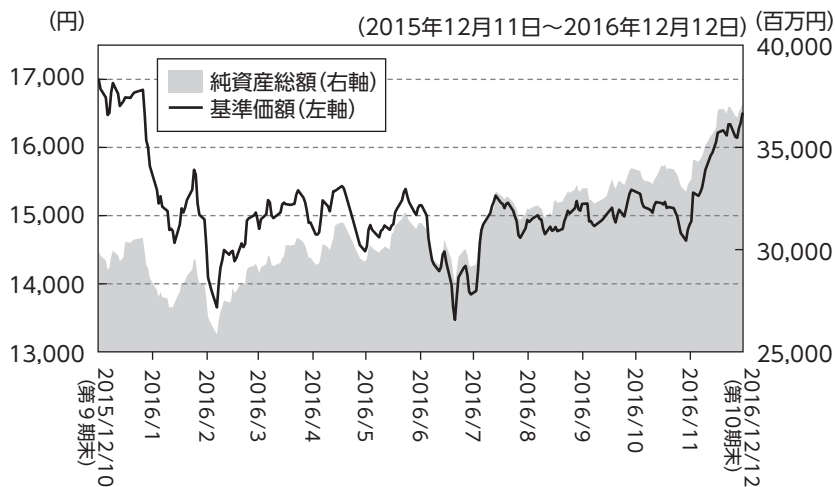
運用経験年数 7年

経歴

2002年	慶應義塾大学法学部政治学科卒業
2009年	独立系資産運用会社においてバックオフィス関連業務や運用業務等に従事した後、2015年セゾン投信入社。2016年から現職。

運用経過の説明

期中の基準価額等の推移



第10期首	16,995円
第10期末	16,637円
(既払分配金)	(-円)
騰落率	△2.1%

- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。
表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

**ここをCHECK!****【基準価額の主な変動要因】**

当期は、米国株式に投資する「バンガード®米国オポチュニティファンド」、「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」、「T.ロウ・プライス・ファンズSICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド」が基準価額の主な上昇要因となった一方で、「ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA (適格機関投資家限定)」と対ドルでの円高の進行が基準価額の主な下落要因となりました。

参考指数やベンチマークとの対比では、「バンガード米国オポチュニティファンド」、「スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定)」などが銘柄選択効果によりベンチマークや参考指数を上回ったものの、「ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA (適格機関投資家限定)」、「ニッポンコムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンドSA (適格機関投資家限定)」、「T.ロウ・プライス・ファンズSICAV-USラージキャップ・バリュー・エクイティ・ファンド」、「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」、「スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS (適格機関投資家限定)」及び2016年3月から組入れを開始した「コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)」が銘柄選択の影響により、ベンチマークや参考指数を下回りました。

< 基準価額のプラス要因 >

バンガード米国オポチュニティファンド (米ドル)
アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ (米ドル)
T.ロウ・プライス・ファンズSICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド (米ドル)
スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定) (円)
コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定) (円)※1
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンドSA (適格機関投資家限定) (円)

※1 2016年3月から組み入れ

期中騰落率
△2.1%

スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS (適格機関投資家限定) (円)
スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定) (円)
TMA長期投資ファンド (適格機関投資家限定) (円)※2
対ドルでの為替レート (円高)
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA (適格機関投資家限定) (円)

※2 2016年3月までに全額を売却

< 基準価額のマイナス要因 >

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015年12月11日~2016年12月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	88円 (49) (33) (7)	0.588% (0.324) (0.218) (0.046)	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用) (そ の 他)	1 (0) (0)	0.003 (0.003) (0.000)	(b) その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	89	0.591	

期中の平均基準価額は15,105円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。



ここをCHECK!

<参考情報>

このファンドが組み入れている投資信託証券の運用管理費は?

“運用管理費”の期中平均比率は以下の通りとなりました。

このファンドが組み入れている投資信託証券の運用管理費率(年率)	0.908%
---------------------------------	--------

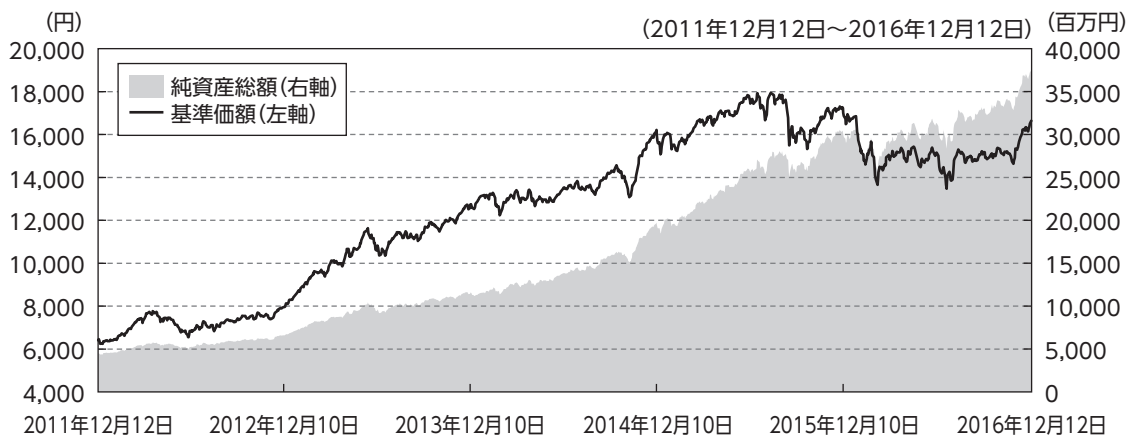
- ・投資している投資信託証券は個別の費用明細を開示していないものがあるため、費用総額を計算したものは記載することはできません。そのため、上記の比率は運用管理費率の概算であり、全ての費用が含まれた比率ではありません。
- ・投資している各投資信託証券の運用管理費率を組入比率で加重平均した、委託会社が計算した数値です。

実質的な費用負担の比率は?

投資家の皆さまの実質的な費用負担比率(年率)	1.499%
------------------------	--------

- ・当ファンドの1万口当たりの費用合計の比率と、このファンドが組み入れている投資信託証券の運用管理費率(概算)を合計したものです。
- ・当期の運用実績は、全ての費用を差し引いた後のものとなっております。

最近5年間の基準価額等の推移



	2011年12月12日 決算日	2012年12月10日 決算日	2013年12月10日 決算日	2014年12月10日 決算日	2015年12月10日 決算日	2016年12月12日 決算日
基準価額 (円)	6,403	7,955	12,743	15,960	16,995	16,637
期間分配金合計(税込) (円)	-	-	-	-	-	-
基準価額の騰落率 (%)	-	24.2	60.2	25.2	6.5	△2.1
参考指数の騰落率 (%)	-	22.2	53.1	25.6	△0.8	3.0
純資産総額 (百万円)	4,479	6,604	11,577	19,448	29,930	37,496

- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。
- ・騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

ここをCHECK!

<参考情報>

当期末(2016年12月12日)と5年前(2011年12月12日)の比較は以下の通りです。

基準価額の騰落率(5年)	159.8%
参考指数の騰落率(5年)	140.0%
純資産額の増加額(5年)	33,016百万円

- ・騰落率は年率換算しておりません。

投資環境

【株式市場の概況】

2016年の初頭から中国経済の先行きに対する懸念が拡がり大きく下落したものの、その後は先進国で金融緩和の長期化観測が高まって、落ち着きを取り戻して反発に転じました。6月にはイギリスで行われた国民投票で欧州連合(EU)からの離脱が選択され、先行きへの不透明感が拡がったものの、先進国で金融緩和の長期化観測が一段と高まったことを受けて落ち着いた展開が継続しました。11月に行われた米国の大統領選挙では大方の予想を覆してトランプ候補が勝利した後、トランプ次期政権が打ち出す経済政策への期待が高まって、上昇しました。

地域別では、米国は利上げ観測が後退したことから比較的堅調な展開となり、終盤にはトランプ次期政権への期待が高まって上昇しました。欧州は経済統合の動きが後退し、先行きへの不透明感が根強いものの、金融緩和策に下支えされて、底堅い展開となりました。日本は途中まで為替市場で円高となったことから軟調な推移となりましたが、終盤に円安に転じて反発しました。太平洋地域や新興国は、景気の先行きに対する悲観的な見方が和らいだほか、先進国で金融緩和の長期化観測が高まったことを背景に資金流出への懸念が和らぎ、比較的堅調な動きとなりました。

セクター別では、資源価格の上昇を受けてエネルギー、素材セクターが大きく上昇したほか、米国の大統領選挙後に規制緩和への期待が高まったことを受けて金融セクターが大きく上昇した一方で、薬価の高騰による公的負担拡大への懸念が高まったことを受けてヘルスケアセクターが下落しました。

【為替市場の概況】

先行きに対する不透明感が高まったことを背景に米国の利上げ観測が後退したことを受けてドルは途中まで軟調な展開となりましたが、11月の大統領選挙後は景気の先行きに対する明るい見方が拡がると共に、利上げ観測が高まり反発に転じました。ユーロは政治的な混迷への懸念や景気の先行きに対する不透明感が高まるなかで、金融緩和の長期化観測が高まっていることから力強さを欠く展開となりました。円は、日本銀行の緩和策の限界が意識されると共に物価上昇観測が後退して、途中まで上昇基調となりましたが、米国の大統領選挙後は、リスク選好が強まるなかで米国や欧州との金利差が拡大して反落に転じました。

上記以外の通貨では、英ポンドが6月に行われた国民投票で欧州連合(EU)からの離脱が選択され、先行きへの不透明感が拡がったことを受けて大きく下落した一方で、ブラジルレアルや南アフリカランドなどの資源国通貨が上昇しました。

当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き、株式への投資比率を高位に保ち、幅広く国際分散投資を行うことを基本に、市場の行き過ぎを活用することを意識しながら地域別の資産配分を行いました。

当期は、投資先ファンドが担う役割を個別銘柄の選別に集中する方針の下、3月に柔軟な資産配分比率の調整を行う「TMA長期投資ファンド〈適格機関投資家限定〉」を全額売却し、持続的に高い成長が期待できる企業に割安と考えられる価格で集中的に投資を行う「コムジェスト日本株式ファンド〈適格機関投資家限定〉」への投資を開始しました。また、同時に「スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS〈適格機関投資家限定〉」の目標投資比率を若干引き上げ、日本株式の目標投資比率を若干引き下げました。

上記以外では、各ファンドの目標投資比率は、ほぼ固定とし、定期積立プランやスポットでのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、為替市場や株式市場の動向により、目標投資比率に対して組入比率が低めとなったファンドの購入を行いました。

結果としては、相対的に軟調な値動きが続いた「ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA〈適格機関投資家限定〉」および目標投資比率を引き上げた「スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS」への投資比率が目標投資比率に対して高めとなった一方で、特に中盤以降、堅調な値動きとなった「バンガード米国オポチュニティファンド」および目標投資比率を引き下げた「スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉」、「スパークス・集中投資・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉」への投資比率が、目標投資比率に対して低めとなりました。

期末の地域別の資産配分比率は、前期末と比較すると、終盤に大きく上昇した米国が上昇したほか、目標投資比率を引き上げた新興国及び太平洋地域の比率が若干上昇する一方で、相対的に力強さを欠く動きとなった欧州の比率が低下したほか、目標投資比率を引き下げた日本株式への投資比率が若干低下しました。

**ここをCHECK!**

<参考情報>

期中の売買及び取引の状況 (2015年12月11日から2016年12月12日)

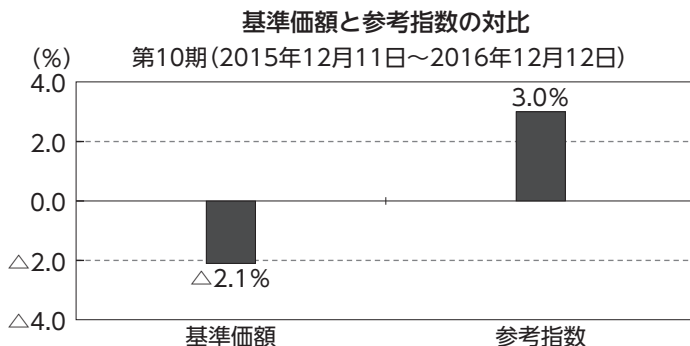
投資信託受益証券		買付 金額	売付 金額
		千円	千円
国 内	ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA (適格機関投資家限定)	2,490,000	-
	ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA (適格機関投資家限定)	855,000	-
	スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS (適格機関投資家限定)	530,000	-
	TMA長期投資ファンド (適格機関投資家限定)	-	657,233
	スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定)	55,000	-
	スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定)	115,000	-
	コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)	1,000,000	-
投資証券		買付 金額	売付 金額
外	アルランド ドル ル セン ブル ラ	千米ドル	千米ドル
		12,400	-
国	T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド アライアンス・パーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポオートフォリオ	7,350	-
		7,100	-

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満は切捨てて表示しております。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第10期
	2015年12月11日～2016年12月12日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	-
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	8,318

- ・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

当期は、資源価格の上昇を受けてエネルギーや素材セクターの株式が上昇したほか、終盤に規制緩和期待が高まった金融セクターの株式が上昇しましたが、当ファンドは、長期的な視点で本質的価値を見極めることが比較的難しい、これらのセクターの株式の保有が相対的に少なく、パフォーマンスが参考指数を下回る理由の一つとなりました。

しかし、短期的な価格の動きを予測することは不可能である一方で、長期的に見れば株価は本質的価値を反映していくことから、本質的価値に対して割安な銘柄への投資を継続することが、長期的な資産の成長に繋がるという当ファンドの信念が揺らぐことはなく、これまでと変わらず、投資先ファンドを通じて、投資対象の本質的価値を重視した投資を継続して参ります。

また、地域によって景気の先行きに対する見方は大きく異なっていますが、先行きが懸念されている地域の株式市場にこそ、長期的に見て優れた投資機会が存在すると認識しており、投資先ファンドを通じて、株式への投資比率を高位に保つと共に、幅広い地域への投資を継続して参ります。

なお来期には、より長期的な視点で銘柄選択を行う新規ファンドの組入れを行う予定としており、準備が整った時点で、受益者の皆様にご案内させていただきます。

運用部長 瀬下 哲雄

お知らせ

当期中の約款変更について

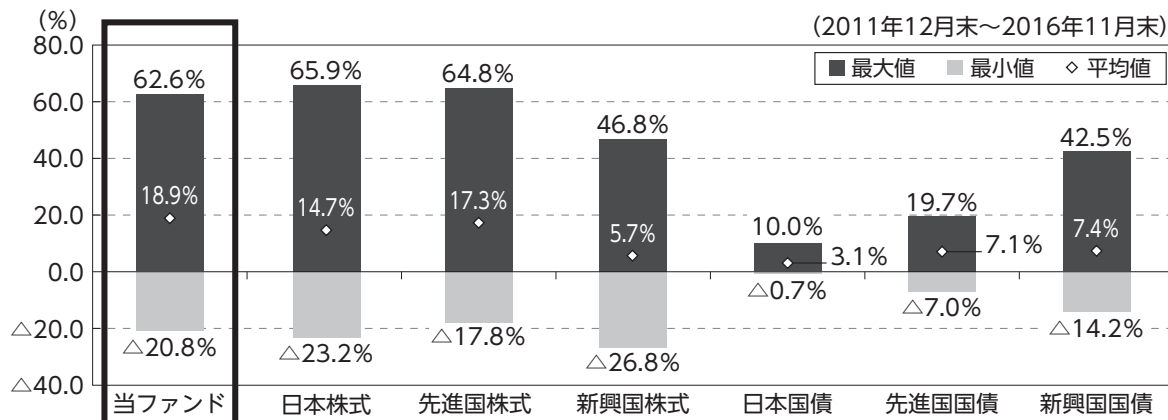
2015年12月11日から2016年12月12日までの期間に実施した約款変更は以下の通りです。

- 2016年3月10日付
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款にて別に定める「運用の基本方針」に所要の変更を行いました。
- 2016年9月9日付
投資対象ファンドおよび投資対象ファンドの委託会社名の変更に伴い、投資信託約款にて別に定める「運用の基本方針」に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	一貫した「長期投資」という投資哲学に基づいて運用されているファンドへの投資を通じて、長期的な資産の成長を図ります。 原則として、為替ヘッジは行いません。
主 要 投 資 対 象	有価証券に投資する国内外の投資信託証券を投資対象とします。
運 用 方 法	当ファンドの運用は、ファンド・オブ・ファンズ方式とし、国内外の投資信託証券の中から、資産規模、運用実績、コストなどの面ならびにファンドの運用方針、投資態度をリサーチの上、投資を行います。 投資信託証券については、運用実績等を総合的に勘案して、投資の対象から入れ替えや除外を行うことがあります。また、投資基準に基づいて投資対象の候補とするファンドは随時追加や除外を行いません。
分 配 方 針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。 当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・2011年12月から2016年11月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- ・上記の騰落率は、直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり決算日に対応した数字とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株式：MSCI ジャパン・インデックス(配当込)
 先進国株式：MSCI ワールド・インデックス(配当込)
 新興国株式：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込)
 日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：日本インデックス
 先進国国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：G7インデックス
 新興国国債：ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て国債インデックス

- ・全ての指数は米ドル建てのものをわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。

- ・MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国および新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

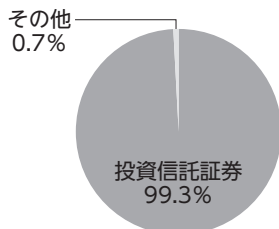
(2016年12月12日現在)

■組入ファンド

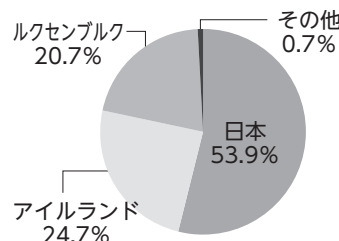
	第10期末(2016年12月12日)
	組入比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)	25.6%
バンガード米国オポチュニティファンド	24.7%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)	12.4%
アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	10.4%
T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	10.3%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)	6.0%
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS(適格機関投資家限定)	3.8%
スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)	3.4%
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	2.7%
その他(短期金融資産等)	0.7%
組入ファンド数	9銘柄

- ・組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
- ・詳細は、運用報告書(全体版)に記載しております。
- ・小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

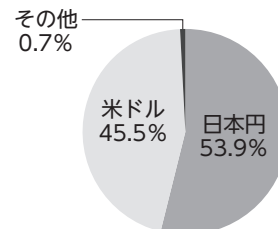
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



- ・国別配分は、投資しているファンドの発行国を表示しております。



ここをCHECK!

投資対象別に分類した組入資産の状況

■資産別配分

投資対象	組入比率	ファンド数
株式を中心に投資するファンド	99.3%	9銘柄
その他(短期金融資産等)	0.7%	—
合計	100.0%	9銘柄

■地域別配分

投資対象	組入比率	ファンド数
米国を中心に投資するファンド	45.5%	3銘柄
欧州を中心に投資するファンド	25.6%	1銘柄
日本を中心に投資するファンド	12.1%	3銘柄
太平洋(日本を除く)を中心に投資するファンド	3.8%	1銘柄
新興国を中心に投資するファンド	12.4%	1銘柄
その他(短期金融資産等)	0.7%	—
合計	100.0%	9銘柄

- ・詳細は、「組入ファンドの概要」をご参照ください。
- ・小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

純資産等

項 目	第10期末
	2016年12月12日
純 資 産 総 額	37,496,565,829円
受 益 権 総 口 数	22,538,188,764口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	16,637円

・期中における追加設定元本額は7,240,165,493円、同解約元本額は2,313,562,705円です。

**ここをCHECK!**

純資産等の前期末の状況は以下の通りです。

項 目	第9期末
	2015年12月10日
純 資 産 総 額	29,930,561,158
受 益 権 総 口 数	17,611,585,976
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	16,995

・期中における金額ベースの追加設定額は10,963,469,408円、同一部解約額は3,495,541,772円です。結果、当期は差し引き7,467,927,636円の資金流入となりました。

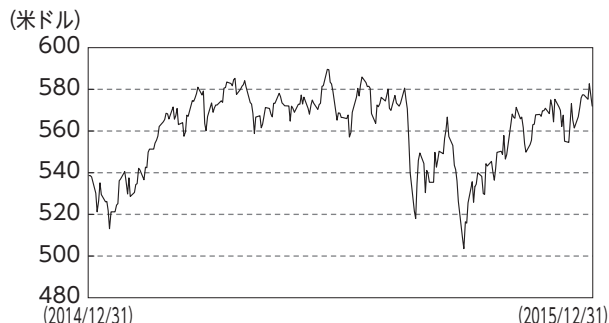
組入ファンドの概要

以下は当ファンドが投資対象としているファンドの現況です。詳細な内容につきましては運用報告書(全体版)に記載しております。

なお、以下の各項目の注記につきましては、30頁をご参照下さい。

1. バンガード米国オポチュニティファンド

■基準価額の推移



■費用明細

(2015年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.85

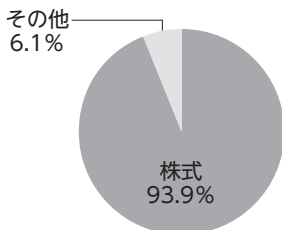
・運用管理費率は、平均純資産総額に対する運用及び管理等にかかる費用の総額の割合を示したものです。

■組入上位10銘柄

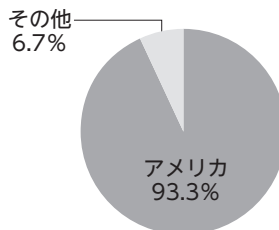
(2015年12月31日現在)

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	Dyax Corp.	ヘルスケア	4.8
2	ABIOMED Inc.	ヘルスケア	4.4
3	Eli Lilly & Co.	ヘルスケア	3.8
4	Seattle Genetics Inc.	ヘルスケア	2.8
5	Southwest Airlines Co.	資本財・サービス	2.7
6	Delta Air Lines Inc.	資本財・サービス	2.5
7	Alphabet Inc.	情報技術	2.3
8	Charles Schwab Corp.	金融	2.1
9	Amgen Inc.	ヘルスケア	1.8
10	Nektar Therapeutics	ヘルスケア	1.8
組入銘柄数		198銘柄	

■資産別配分



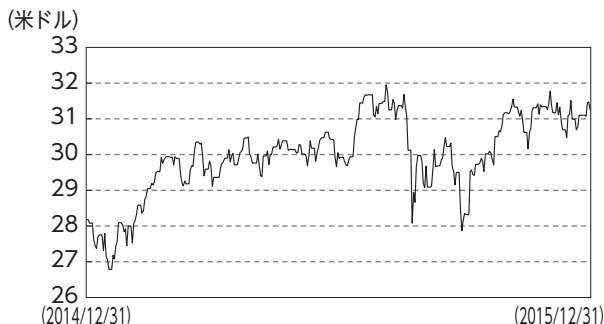
■国・地域別配分



- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・通貨別配分については、開示されていないため記載しておりません。

2. T.ロウ・プライス・ファンズSICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド

■基準価額の推移



■費用明細

(2015年12月31日現在)

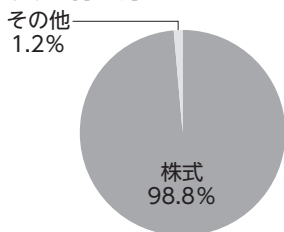
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)(%)
なし	なし	0.65

■組入上位10銘柄

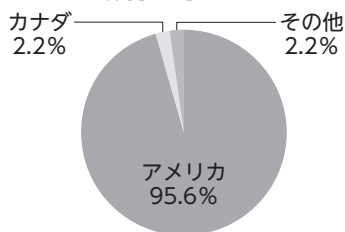
(2015年12月31日現在)

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	AMAZON COM INC	一般消費財・サービス	7.7
2	VISA INC-CLASS A SHRS	情報技術	4.2
3	ALPHABET INC CL A	情報技術	4.2
4	PRICELINE GROUP INC/THE	一般消費財・サービス	4.1
5	BOEING COMPANY	資本財・サービス	4.0
6	FACEBOOK INC	情報技術	3.9
7	DANAHER CORP	資本財・サービス	3.8
8	ALEXION PHARMACEUTICAL	ヘルスケア	3.4
9	ALLERGAN PLC	ヘルスケア	3.2
10	MICROSOFT CORP	情報技術	2.5
	組入銘柄数	69銘柄	

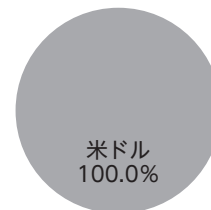
■資産別配分



■国・地域別配分

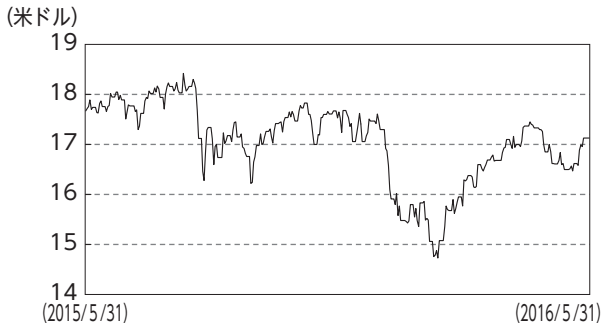


■通貨別配分



3. アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ

■基準価額の推移



■費用明細

(2016年5月31日現在)

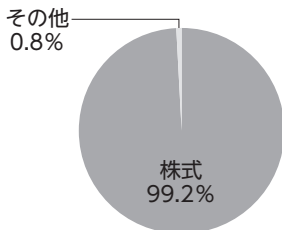
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)(%)
なし	なし	0.85

■組入上位10銘柄

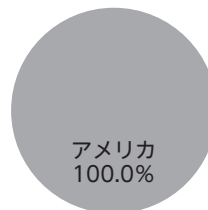
(2016年5月31日現在)

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	Charles Schwab Corp.	金融	7.0
2	Amphenol Corp. - Class A	情報技術	7.0
3	Ecolab, Inc.	素材	6.8
4	Quintiles Transnational Holdings Inc	ヘルスケア	6.6
5	Priceline Group Inc (The)s	一般消費財・サービス	6.2
6	Automatic Data Processing, Inc	情報技術	5.8
7	Abbott Laboratories.	情報技術	5.0
8	Alphabet, Inc - Class C	資本財・サービス	5.0
9	Delphi Automotive PLC	一般消費財・サービス	4.9
10	Celgene Corp	ヘルスケア	4.9
組入銘柄数		20銘柄	

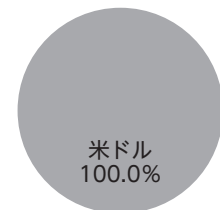
■資産別配分



■国・地域別配分

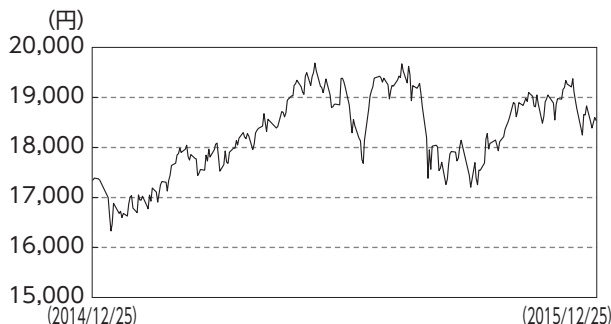


■通貨別配分



4. ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA (適格機関投資家限定)

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2014年12月26日～2015年12月25日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	197円 (118) (59) (20)	1.08% (0.65) (0.32) (0.11)
(b) 売買委託手数料 (株式会社)	17 (17)	0.09 (0.09)
(c) 有価証券取引税 (株式会社)	14 (14)	0.08 (0.08)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他 1)	12 (11) (1) (0)	0.07 (0.06) (0.01) (0.00)
合計	240	1.32

期中の平均基準価額は18,245円です。

- ・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
- ・消費税等は報告日の税率を採用しています。
- ・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- ・その他1は、外国株式に関する各種手数料等です。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 組入ファンド

(2015年12月25日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

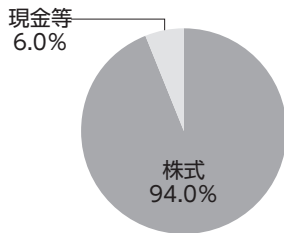
<ご参考> ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

■組入上位10銘柄

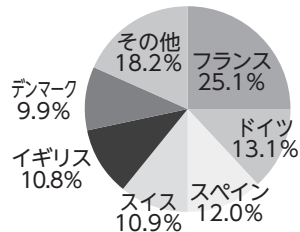
(2015年12月25日現在)

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	INDITEX	スペイン	一般消費財・サービス	6.2
2	AMADEUS IT HOLDINGS SA	スペイン	情報技術	5.8
3	ESSILOR INTERNATIONAL	フランス	ヘルスケア	4.3
4	WIRECARD AG	ドイツ	情報技術	4.3
5	SARTORIUS STEDIM BIOTECH	フランス	ヘルスケア	4.2
6	COLOPLAST -B	デンマーク	ヘルスケア	4.1
7	DASSAULT SYSTEMES SA	フランス	情報技術	4.0
8	ARM HOLDINGS PLC	イギリス	情報技術	3.9
9	BAYER AG-REG	ドイツ	ヘルスケア	3.8
10	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	3.5
組入銘柄数		36銘柄		

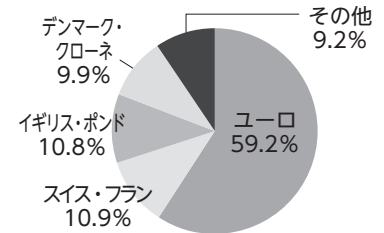
■資産別配分



■国・地域別配分



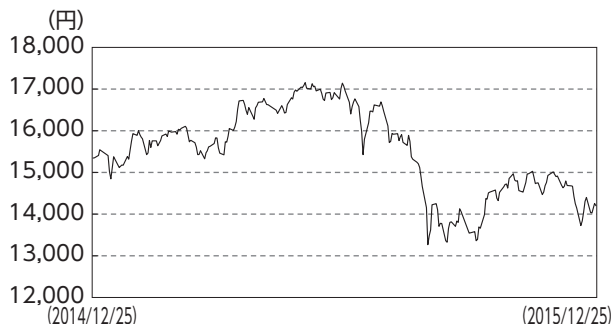
■通貨別配分



- ・投資比率、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する割合です。
- ・国/地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

5. ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA (適格機関投資家限定)

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2014年12月26日～2015年12月25日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	167円 (100) (50) (17)	1.08% (0.65) (0.32) (0.11)
(b) 売買委託手数料 (株式会社)	24 (24)	0.15 (0.15)
(c) 有価証券取引税 (株式)	10 (10)	0.06 (0.06)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他1) (その他2)	27 (20) (1) (2) (3)	0.18 (0.13) (0.01) (0.02) (0.02)
合計	228	1.47

期中の平均基準価額は15,499円です。

- ・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
- ・消費税等は報告日の税率を採用しています。
- ・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- ・その他1は、外国株式に関する各種手数料等です。
- ・その他2は、インド株式におけるキャピタルゲイン課税等です。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 組入ファンド

(2015年12月25日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

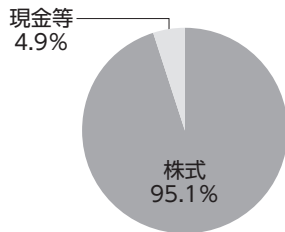
— <ご参考> ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド —

■組入上位10銘柄

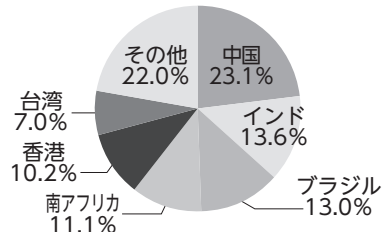
(2015年12月25日現在)

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	台湾	情報技術	7.0
2	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	金融	6.3
3	CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	5.5
4	NETEASE INC ADR	中国	情報技術	4.8
5	INFOSYS LTD-SP ADR	インド	情報技術	4.2
6	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	中国	金融	4.2
7	CKH HOLDINGS	香港	資本財・サービス	4.0
8	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド	公益事業	3.6
9	SANLAM LTD	南アフリカ	金融	3.6
10	MTN GROUP LTD	南アフリカ	電気通信サービス	3.4
	組入銘柄数	38銘柄		

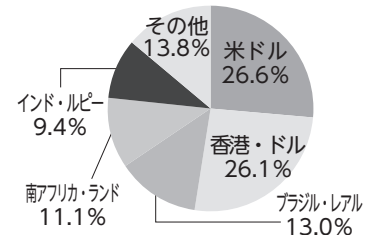
■資産別配分



■国・地域別配分



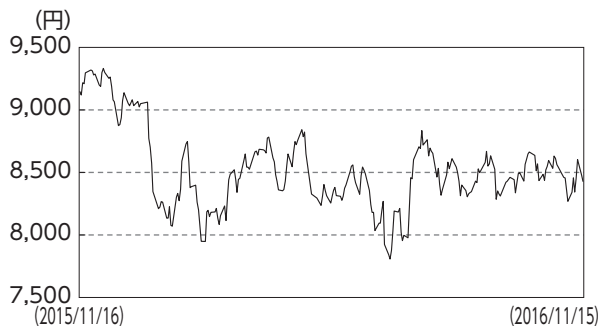
■通貨別配分



- ・投資比率、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する割合です。
- ・国/地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

6. スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS〈適格機関投資家限定〉

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2015年11月17日～2016年11月15日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	78円 (74) (0) (4)	0.91% (0.86) (0.00) (0.05)
(b) 売買委託手数料	14	0.16
(c) 有価証券取引税	4	0.04
(d) その他費用	18	0.21
合計	114	1.32

期中の平均基準価額は8,603円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- ・その他費用は、保管費用および監査費用です。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

■ 組入ファンド

(2016年11月15日現在)

	当期末 比率
スパークス・ワンアジア厳選投資マザーファンド	99.9%
組入銘柄数	1銘柄

— <ご参考> スパークス・ワンアジア厳選投資マザーファンド —

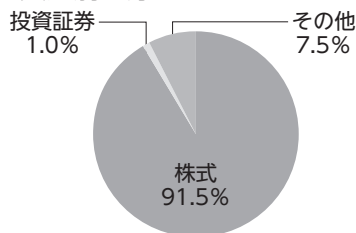
■組入上位10銘柄

(2016年11月15日現在)

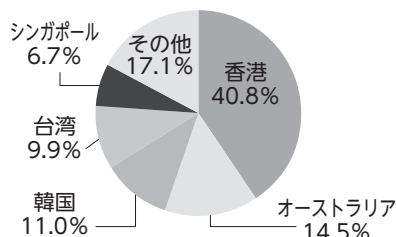
	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	AIA GROUP LTD	香港	金融	5.2
2	TAIWAN SEMICON MAN	台湾	情報技術	5.1
3	CHINA STATE CONSTR	香港	資本財・サービス	4.4
4	POWER ASSETS HLDGS	香港	公益事業	3.9
5	TENCENT HLDGS LTD	香港	情報技術	3.8
6	TRANSURBAN GROUP	オーストラリア	資本財・サービス	3.7
7	GUANGDONG INVEST	香港	公益事業	3.3
8	SAMSUNG ELECTRONIC	韓国	情報技術	3.2
9	ZHEJIANG EXPRESS	香港	資本財・サービス	2.8
10	TELSTRA CORP LTD	オーストラリア	電気通信サービス	2.6
組入銘柄数		48銘柄		

- ・投資比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価総額の比率です。
- ・[国/地域]には、市場国を表示しています。

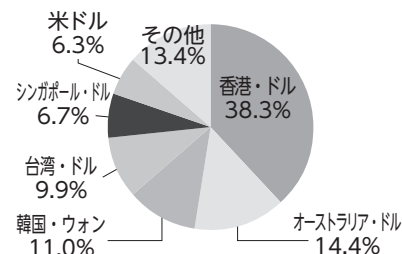
■資産別配分



■国・地域別配分



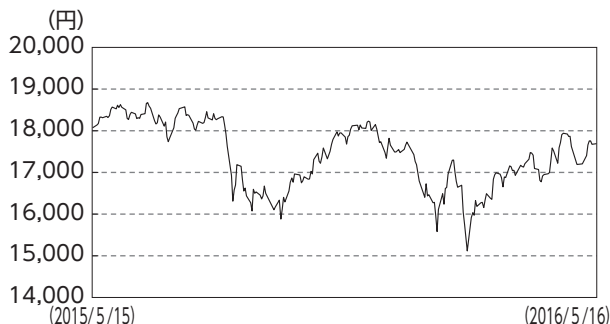
■通貨別配分



- ・[国/地域]には、市場国を表示しています。
- ・有価証券のみを集計対象としています。
- ・比率は、親投資信託の純資産総額に対する比率を表示しています。

7. TMA長期投資ファンド〈適格機関投資家限定〉

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2015年5月16日～2016年5月16日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投資会社) (販売会社) (受託会社)	90円 (76) (6) (9)	0.514% (0.433) (0.032) (0.049)
(b) 売買委託手数料 (株式会社)	21 (21)	0.122 (0.122)
(c) 有価証券取引税 (株式会社)	1 (1)	0.008 (0.008)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	3 (1) (1) (0)	0.015 (0.007) (0.008) (0.000)
合計	115	0.659

期中の平均基準価額は、17,494円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。
- ・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

■ 組入ファンド

(2016年5月16日現在)

	当期末
東京海上長期投資マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

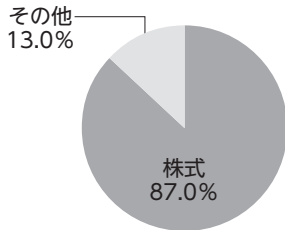
＜ご参考＞ 東京海上長期投資マザーファンド

■組入上位10銘柄

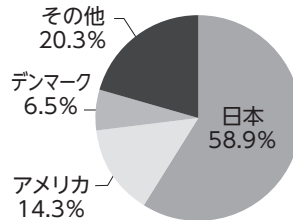
(2016年5月16日現在)

	銘柄名称	国/地域	投資比率(%)
1	キーエンス	日本	4.6
2	ニトリホールディングス	日本	4.3
3	関西ペイント	日本	4.0
4	ヤフー	日本	4.0
5	NOVOZYMES A/S-B SHARES	デンマーク	3.6
6	エムスリー	日本	3.5
7	CHURCH & DWIGHT CO INC	アメリカ	3.4
8	アサヒグループホールディングス	日本	3.3
9	COGNIZANT TECH SOLUTIONS-A	アメリカ	3.3
10	信越化学工業	日本	3.2
組入銘柄数		30銘柄	

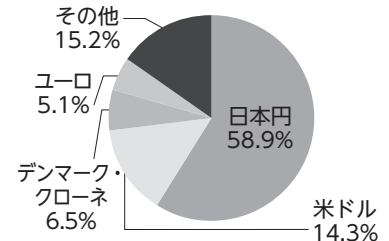
■資産別配分



■国・地域別配分



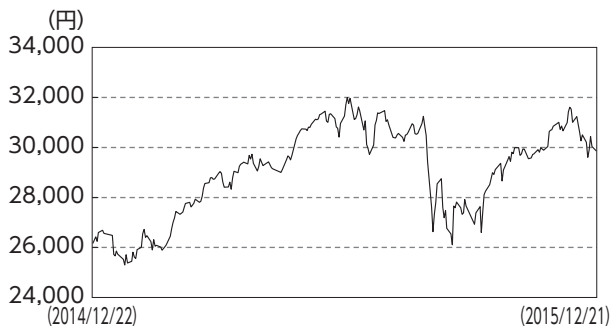
■通貨別配分



- ・投資比率、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する割合です。
- ・国/地域は、東京海上アセットマネジメント株式会社の判断に基づいて分類しております。

8. スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2014年12月23日～2015年12月21日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	235円 (208) (16) (11)	0.82% 0.72 0.06 0.04
(b) 売買委託手数料	27	0.09
(c) その他費用	3	0.01
合計	265	0.92
期中の平均基準価額は、29,023円です。		

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・その他費用は、監査費用です。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

■ 組入ファンド

(2015年12月21日現在)

	当期末
スパークス集中投資戦略マザーファンド	99.9%
組入銘柄数	1銘柄

<ご参考> スパークス集中投資戦略マザーファンド

■組入上位10銘柄

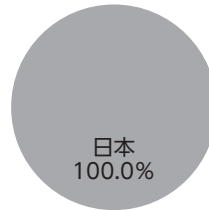
(2015年12月21日現在)

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	オープンハウス	不動産業	8.4
2	T P R	機械	4.8
3	東洋建設	建設業	4.6
4	トーセイ	不動産業	4.3
5	シップヘルスケアホールディングス	卸売業	3.8
6	日本曹達	化学	3.6
7	エフピコ	化学	3.5
8	D I C	化学	3.3
9	三井製糖	食料品	3.3
10	古野電気	電気機器	3.1
組入銘柄数		33銘柄	

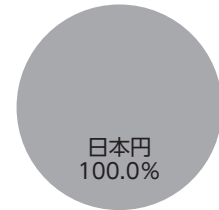
■資産別配分



■国・地域別配分



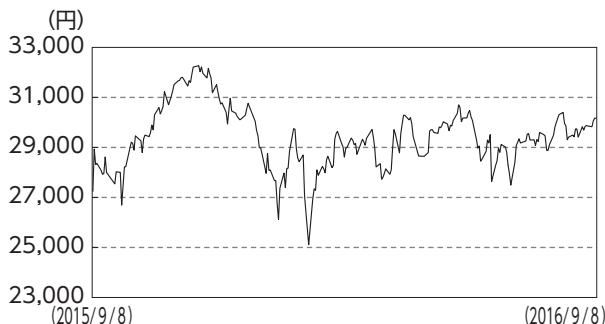
■通貨別配分



・投資比率、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する割合です。

9. スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2015年9月9日～2016年9月8日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	257円 (248) (-) (9)	0.87% 0.84 - 0.03
(b) 売買委託手数料	5	0.02
(c) その他費用	3	0.01
合計	265	0.90

期中の平均基準価額は29,633円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・その他費用は、監査費用です。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

■ 組入上位10銘柄

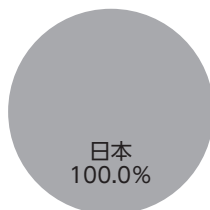
(2016年9月8日現在)

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	ソフトバンクグループ	情報・通信業	11.2
2	キーエンス	電気機器	9.0
3	ユニ・チャーム	化学	8.9
4	日本電産	電気機器	8.7
5	テルモ	精密機器	8.3
6	ミスミグループ本社	卸売業	7.5
7	花王	化学	7.3
8	アシックス	その他製品	6.9
9	三菱商事	卸売業	6.2
10	シマノ	輸送用機器	6.0
組入銘柄数		14銘柄	

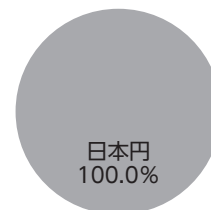
■ 資産別配分



■ 国・地域別配分

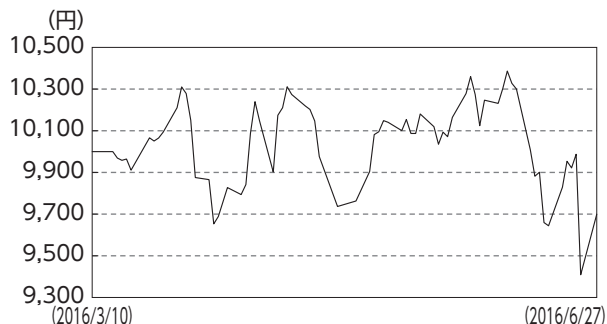


■ 通貨別配分



10. コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2016年3月10日～2016年6月27日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	26円 (17) (8) (1)	0.25% (0.16) (0.08) (0.01)
(b) 売買委託手数料 (株式)	21 (21)	0.20 (0.20)
(d) その他費用 (監査費用) (その他)	1 (1) (0)	0.01 (0.01) (0.00)
合計	48	0.47

期中の平均基準価額は10,162円です。

- ・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
- ・消費税等は報告日の税率を採用しています。
- ・売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- ・その他は、無利息金銭信託の手数料です。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 組入ファンド

(2016年6月27日現在)

	当期末
コムジェスト日本株式マザーファンド	99.8%
組入銘柄数	1銘柄

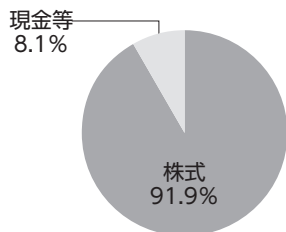
<ご参考> コムジェスト日本株式マザーファンド

■組入上位10銘柄

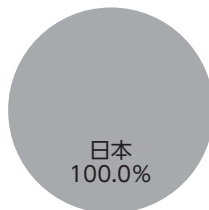
(2016年6月27日現在)

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	エムスリー	ヘルスケア	4.7
2	ポーラ・オルビスホールディングス	生活必需品	4.1
3	キーエンス	情報技術	3.9
4	シスメックス	ヘルスケア	3.6
5	ホシザキ電機	資本財・サービス	3.6
6	日本M&Aセンター	金融	3.1
7	光通信	一般消費財・サービス	3.0
8	MonotaRO	資本財・サービス	3.0
9	スタートトゥデイ	一般消費財・サービス	2.9
10	ファーストリテイリング	一般消費財・サービス	2.8
組入銘柄数		37銘柄	

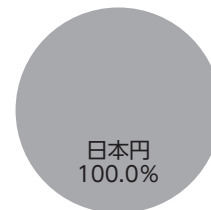
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・投資比率、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価総額の比率です。

(注)運用報告書作成までに年次報告書を入手できないため、半期の情報を記載しております。参考情報である旨ご留意ください。

- ・作成時点において、入手可能な各ファンドの直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。
- ・特に指定がない場合、投資比率、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・特に指定がない場合、日本株式の業種は東証33業種分類、外国株式の業種は世界産業分類基準(GICS)による分類を記載しています。
- ・単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

[Vanguard] (日本語での「バンガード」を含む)及び[tall ship logo]商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することがありますのでご了承ください。

バンガード米国オポチュニティファンド	→ 米国オポチュニティ
T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	→ T.ロウ・グロースまたはT.ロウ・プライス米国大型グロース株式ファンド
アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	→ 米国株式集中投資またはアライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)	→ コムジェスト・ヨーロッパ
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)	→ コムジェスト・エマージング
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>	→ スパークス・ワンアジア
TMA長期投資ファンド<適格機関投資家限定>	→ TMA長期投資ファンド
スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>	→ スパークス・集中投資
スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>	→ スパークス・長期厳選
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	→ コムジェスト日本株式

[R&Iファンド大賞]は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

リッパー・ファンド・アワードの評価の基となるリッパー・リーダーズのファンドに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リッパー・リーダーズが分析しているのは過去のファンドのパフォーマンスであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リッパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

TOPICS：《当社の直接販売の状況 第10期（2015年12月11日～2016年12月12日）》

○ 当期のふりかえり

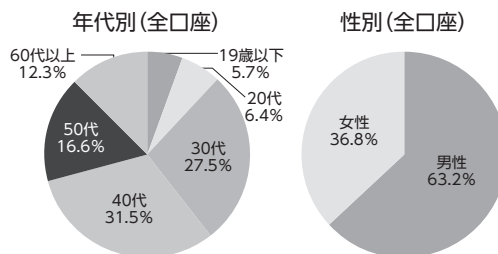
2016年 4月	ホームページをリニューアル
5月	お客さま口座数 11万口座
6月	会社設立10周年
10月	純資産総額1,500億円
11月	純資産総額1,600億円

○ 2016年12月12日現在 お客さま口座数 116,229件(前期比+14.1%増)

イギリス国民投票によるEU離脱の選択や米国の大統領選挙など政治的な要因も相まって、株式市場の変動が大きな期間となりましたが、お客さまはこの1年間で14,377名増加しました。口座の増加数は、前期間と比べ減少しておりますが、相場環境に不安定さが目立つ中、毎月1千件前後の口座開設を受付いたしました。(前期間末のお客さま口座数101,852件、口座増加数+25,169件)

○ お客さまの特徴

年代別は前期から大きな変化はなく「資産形成層」の30代～40代が59.0%と大きな割合を占めています。性別の構成は女性比率が前期から1.0%増えています。



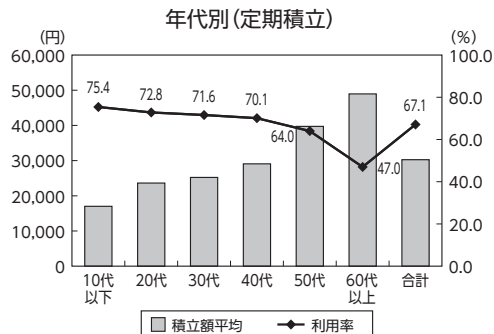
○ ファンドの設定・解約の状況(当社ファンドの合計)

当期間も、設定額が解約額を毎月上回り、純資金流入が継続しています。純資金流入額は271.6億円(金額ベース)で、前期の金額(266.5億円)を上回り、開業来最多額となりました。

○ 定期積立プラン

当サービスの利用率は67.1%となっております。前期に比べ口座開設数が減ったこともあり、利用率は若干減少(前期から△0.9%)しています。

・定期積立プランは、当社が運用、販売するファンド2種類のいずれか、もしくは両ファンド定期積立サービスをご利用いただいている方を対象としてデータを作成しています。また積立額平均、利用率は2016年12月時点の数値であり、積立額平均は増額月の増額分の金額を含まない平均値です。



相場環境によらず、安定して新しいお客さまが増えた1年となり、これも皆さまのおかげと深く感謝しております。

これからも皆さまからいただく評価を受け止め、共に長期で成長する会社であり続けるため、一つ一つのこだわりを大切にお客さまのために誠実なサービスの提供に努めてまいります。

- ・お客さまの特徴や口座、金額は、保有しているファンドの種類や有無に関係なく当社に口座を開設していただいているお客さまを集計したものととなります。
- ・金額は、明記されたものを除き当社が運用、販売するファンド2種類を合計した数値となっております。